

製品安全データシート

改訂 2009年10月1日

〔 1. 製品及び会社概要 〕

製品名 : Gフロ-A10
 会社名 : 株式会社ジニアスコーポレーション
 住所 : 〒671-1213 兵庫県姫路市勝原区宮田10-7
 電話番号 : 079-272-8900
 FAX番号 : 079-274-4050

〔 2. 組成、成分情報 〕

化学特性
 単一製品・混合物の区別 : 混合物
 記載の物質に基づくポリマー : ポリカルボキシラート

〔 3. 危険有害性の要約 〕

分類の名称
 規正/ : 注記にしたがって保管および取り扱いを行なえば、特に危険はない。
 分類基準に該当しない。

〔 4. 応急措置 〕

一般的なアドバイス : 救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。汚れた衣服は取り替える。
 吸入した場合 : 粉塵吸入後 安静にし、新鮮な空気のある場所に移動させること。
 皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合、直ちに水と石鹸で十分に洗い流す。
 : いかなる場合にも有機溶剤を使用してはいけない。刺激が続くようであれば、医師の
 : 診察を受けること。
 眼に入った場合 : 眼と接触した場合は、直ちに多量の水で洗い医師の診断を受けること。
 飲み込んだ場合 : 直ちに口をすすぎ多量の水を飲ませた後、医師の手当を受ける。
 : 中毒情報センターまたは医師の指示がない限り、吐かせないこと。
 医師への注意事項 : 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。

〔 5. 火災時の措置 〕

適切な消化剤 : 泡・噴霧水・粉末消化剤・二酸化炭素
 不適切な消化剤 : ウォータージェット
 特定の危険有害性 : 二酸化炭素・一酸化炭素・有害な蒸気・ヒューム/煙・カーボンブラック
 特別な保護具 : 自給式呼吸器を着用すること。
 追加情報 : 燃焼物および火災条件により危険度が変わる。
 : 汚染された消化用水は、法令に従い処分すること。

〔 6. 漏出時の措置 〕

人体に対する注意事項 : 粉塵を発生させない。保護具を着用する。Good building materialの衛生と
 安全粒子にしたがって取り扱うこと。
 環境面での注意事項 :
 容器に汚染水/ : 消火用水を取り集める。排水溝等に流水させない。

除去方法

- 少量の場合 : 適切な器具を用い回収し、廃棄すること。法令に従って吸着剤を廃棄すること。
- 大量の場合 : 適切な器具を用い回収し、廃棄すること。法令に従って吸着剤を廃棄すること。
粉塵を発生させないこと。

〔 7. 取扱及び保管上の注意 〕

- 取扱 : 粉塵を発生させない。粉塵を吸入しない。皮膚との接触を避ける。
製品を装置内に投入するとき、風上から仕込み、出来るだけ高い位置から仕込まないこと。換気装置なしに大量に取り扱う場合は呼吸保護具を着用する。
- 火災及び爆発からの保護 : 注意事項は特になし。静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- 保管 : 酸から隔離する。塩基から離して保管する。強酸化剤から離しておくこと。
- 保管情報に関する追加情報 : 出荷容器のまま、換気が十分な乾燥した冷暗所において、点火源、熱または炎から離して保管すること。直射日光を避ける。
この物質/製品は、高温/圧力下で固化する可能性がある。
- 以下に示した温度以上にしない : 40
容器製品は指示温度を越えないようにすること。

〔 8. 暴露防止及び保護装置 〕

- 職場管理基準のある構成成分 : 一般的な粉塵許容濃度を保つこと。
二酸化ケイ素 7631-86-9
- 体の保護具
- 呼吸保護具 : 呼吸保護具(換気の悪い場合)固体粒子に対して低効率の微粒子フィルター
- 手の保護具 : (例:EN 143もしくは149タイプP1もしくはFFP1)
- 眼の保護具 : 不浸透性手袋
- 体の保護具 : サイドシールド(フレームゴーグル) (EN 166準拠)付き安全眼鏡
- 一般的な安全及び衛生対策 : 軽量の保護衣
取り扱い中のコンタミを防止するために、一体型作業衣と手袋を使用する。
Good building materialの衛生と安全粒子にしたがって取り扱うこと。
作業中は、飲食や喫煙をしない。作業後に手洗い、洗眼をする。
作業後に皮膚を洗浄し、皮膚保護剤を塗布すること。
手袋は使用前に定期的に点検すること。小穴がある場合など、必要に応じて手袋を交換すること。

〔 9. 物理的及び化学的性質 〕

- 性状 : 粉末
- 色 : 帯黄色～褐色
- 臭気 : 特異臭
- pH値 : 6.5-8.5
(20 ° C)
- 融点 : 約55 ° C
- 引火点 : データなし。
- 爆発化限界 : 30% (V)
- 発火温度 : 約360 ° C
- 嵩密度 : 400-600 kg/m³

水に対する溶解性	:	可溶
湿度測定	:	吸湿性
[10. 安定性及び反応性]		
避けるべき条件	:	製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。
熱分解	:	通常の取扱い条件下で危険分解物なし。
避けるべき物質	:	強酸 強塩基 強酸化剤
危険有否反応	:	製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。
[11. 有害性情報]		
急性毒性	:	LD50(半数致死量) ラット(経口):>2,000mg/kg
刺激性	:	皮膚刺激 ウサギ:刺激性なし(Directive 92/69/CEE, B.4) 本品は未試験である。本記述は、類似の組成を有する製品に基づくものである。 眼粘膜の刺激 ウサギ:刺激性なし 本品は未試験である。本記述は、類似の組成を有する製品に基づくものである。
感作性	:	
モルモット	:	感作性なし 本品は未試験である。本記述は、類似の組成を有する製品に基づくものである。
遺伝毒性	:	
Ames試験	:	変異原性試験では遺伝毒性の可能性は認められなかった。
その他該当する毒性情報	:	製品の組成に基づく、急性一般毒性効果はないと考えられる。本品は未試験である。本記述は、類似の組成を有する製品に基づくものである。
[12. 環境影響情報]		
環境毒性	:	
水生無脊椎動物	:	EC50(48h)>100mg/lオオミジンコ (学名:Daphnia magna) 本品は未試験である。本記述は、類似の組成を有する製品に基づくものである。
残留性及び分解性	:	
除去情報	:	容易に生分解性されない(OECD基準による)
追加情報	:	
その他の環境毒性情報	:	水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。前処理なしに河川等に流してはならない。本品は未試験である。本記述は、類似の組成を有する製品に基づくものである。
[13. 廃棄上の注意]		
	:	国のまたは地方の法定事項に従うこと。 残渣は、この物質/製品と同様の方法で廃棄しなければならない。
汚染された容器	:	汚染された包装から内容物を可能なかぎり取り除き、包装を完全に浄化した上でリサイクルに回すこと。
[14. 輸送上の注意]		
日本以外の国における陸上輸送	:	輸送規則では危険有害性物質に分類されていない。
海上輸送	:	IMDG 輸送規則では危険有害性物質に分類されていない。
Sea transport	:	IMDG

航空輸送 : Not classified as a dangerous good under transport regulations
: IATA/ICAO
輸送規則では危険有害性物質に分類されていない。

Aie transport : IATA/ICAO
Not classified as a dangerous good under transport regulations

[15. 適用法令]

消防法 : 非危険物

欧州連合の規則(ラベル表示)

EEC指令 : E C指令によると、本品は有害性に関する警告を表示する必要はない。

その他の規則

この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理、化学的性質、危険・有毒性当に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対策としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用下さい。

安全データシート 社名変更引用しています。

製品安全データシート

改訂 2009年10月1日

〔 1. 化学物質等及び会社概要 〕

製品名 : GフローW10
 会社名 : 株式会社ジニアスコーポレーション
 住所 : 〒671-1213 兵庫県姫路市勝原区宮田10-7
 電話番号 : 079-272-8900
 FAX番号 : 079-274-4050

〔 2. 危険有害性の要約 〕

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類基準に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分外
 急性毒性(経皮) : 区分外
 急性毒性(吸入) : 分類対象外(蒸気)
 皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない
 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 分類できない
 呼吸器感作性 : 分類できない
 皮膚感作性 : 分類できない
 生殖細胞変質原性 : 分類できない
 発がん性 : 分類できない
 生殖毒性 : 分類できない
 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 分類できない
 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) : 分類できない
 呼吸性呼吸有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性・急性 : 分類できない
 水生環境有害性・慢性 : 分類できない

注意書き

〔 予防策 〕 : 取扱後はよく洗うこと。
 必要に応じて個人用保護具を使用すること。

〔 対応 〕 : 眼に入った場合 …… 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用
 していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 皮膚に付着した場合 …… 多量の水と石鹸で洗うこと。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

〔 保管 〕 : 換気の良い場所で保管すること。

〔 3. 組成、成分情報 〕

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 官報公示整理番号 : 有り
 成分及び含有量 : 亜硝酸ナトリウム
 CAS番号 : 非公開

〔 4. 応急措置 〕

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。
- 目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

〔 5. 火災時の措置 〕

- 消化剤 : 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性 : 情報なし
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を絶ち、適切な消化剤を使用して消火する。
消火作業は、可能な限り風上から行なう。
- 消火を行なう者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋・眼鏡・マスク等)を着用する。

〔 6. 漏出時の措置 〕

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 : 作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡)を着用する。
多量の場合、人を安全に待避させる。必要に応じた換気を確保する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
- 除去方法 : 少量の場合、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

〔 7. 取扱及び保管上の注意 〕

取扱

- 技術的対策 : 取扱場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 注意事項 : 火気注意。
- 安全取扱注意事項 : 適切な排気換気装置を使用する。取扱後はよく洗うこと。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。

保管

- 適切な保管条件 : 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。火気注意
- 安全な容器包装材料 : 情報無し

〔 8. 暴露防止及び保護措置 〕

- 設備対策 : 取扱場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
適切な排気換気装置を使用する。
- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度 : 設定されていない
- 日本産業衛生学会 : 設定されていない
- ACGIH : 設定されていない
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 状況に応じ着用
- 手の保護具 : ゴム保護手袋
- 目の保護具 : 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣
適切な衛生対策 : 情報無し

[9. 物理的及び化学的性質]

物理的状态

形状 : 液体
色 : 無色透明
臭い : わずかな(若干)特異臭
pH : 6.0 (1%水溶液)

物理的状态が変化する特定の温度

/ 温度範囲

沸点 : 情報無し
融点 : -12.0
引火点 : 207.0

燃烧又は爆発特性

燃烧又は爆発限界 : 上限 : 情報無し 下限 : 情報無し

蒸気圧 : 情報無し

蒸気密度 : 情報無し

溶解度

水溶解性 : 難溶
溶媒溶解性 : エタノールに溶解
自然発火温度 : 情報無し
分解温度 : 情報無し
蒸発速度 : 情報無し
燃烧性(固体、ガス) : 情報無し
その他のデータ : 情報無し

[10. 安定性及び反応性]

化学的安定性 : 通常の使用では安定
危険有害反応可能性 : 通常の使用では安定
避けるべき条件 : 情報無し
湿触危険物質 : 情報無し
危険有害な分解生成物 : 情報無し
その他 : 情報無し

[11. 有害性情報]

発癌性 : I A R C、N T Pの発癌性物質リストには記載されていない。

[12. 環境影響情報]

魚毒性 : 未処理で河川、海に排出すると、生態系に影響すると考えられる。
(樹脂の粘着による呼吸困難のため、魚類が死亡する場合がある。)

[13. 廃棄上の注意]

: しかるべき設備で焼却処理を行う。

【 14. 輸送上の注意 】

- : ” 漏出時の処置 漏出時の措置 ” を参照
” 取扱及び保管上の注意 ” を参照
容器の破損、漏れがないことを確かめる。
荷崩れ防止を確実にこなう。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

【 15. 適用法令 】

消防法

- : 法第2条第7項危険物別表第1第4類引火性液体、第4石油類(6000L)、
危険等級

この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理、化学的性質、危険・有毒性当に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対策としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用下さい。

安全データシート 社名変更引用しています。